

統合科目

保存修復学

《担当者名》 歯学部教授 / 斎藤 隆史 歯学部講師 / 泉川 昌宣

【概要】

これまでに学んだ総論、ラバーダム防湿、歯髄保護、成形修復、インレー修復、合着・接着材、仮封材・仮着材・暫間被覆冠、器械・器具等の総まとめを行い、保存修復学の知識を確実なものとする。

【学修目標】

う蝕をはじめとする歯の硬組織疾患に対する対応について歯科衛生士として必要な知識を総合的に習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	歯科保存学と保存修復技法の概要	歯科疾患、窩洞の具備条件、窩洞の分類、修復のための前装備、切削器具、歯髄保護法、直接修復法の種類と内容について復習・整理する。	泉川 昌宣
3) 4	歯科保存学と保存修復技法の概要	間接修復法の種類と内容、術後管理について復習・整理する。	泉川 昌宣
5) 6	上記の講義内容のテストと解答	上記の講義内容の知識を確実なものとする。	泉川 昌宣

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験100%

【教科書】

「最新歯科衛生士教本（歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法）」 医歯薬出版

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について確認しておく。（20分）

授業ごとに実施した内容を元に復習をする。（40分）

【実務経験】

斎藤 隆史(歯科医師) 泉川 昌宣(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

学理に則った教育内容と実務経験を活かすことで、教育成果が期待できる内容となっている。